



# ほたるびたより

Vol.13

**盛況御礼!**

## 季節の 薔薇とお茶の会

5/17(日)、当日は天気にも恵まれ、多くの皆さまにご来園いただきました。お抹茶と和菓子も大変ご好評をいただき賑やかな観賞会となりました。次回は秋の開催を予定しております。



5/20(水)に、アドベンチャーレーサー「TeamEAST WIND」の皆さまをお招きして、正恵寺住職との座談会「霊園で考える死と生」が行われました。座談会の詳細は、次号より連載でお伝えします。



### 今月の位職のことば

## 行住坐臥ぎょうじゅうざが

「お遍路さんと、アドベンチャーレース」

去る5月20日当寺にてアドベンチャーレースの「チーム イーストウインド」の4名と対談した。彼らに、ぎりぎりの死と生の狭間で見える境地を尋ねると、以前80代の方に死について尋ねた時と同じ答えだった。「全く死など考えていない。困難な状況で、どうやってその問題を解決して、より早くゴールへ向かうか」だけだ。

四国には88か所を巡り、納経帳に印を押してもらおう、お遍路参りがある。巡礼、巡拝など、呼び名は種々あるが、遍路(辺鄙なみち)だけは違う。崖、山の上、谷と険しい道を行く。巡礼と違い、行として巡るからだ。死装束を纏い、墓に見立てた金剛杖を持ち、南無大使遍照金剛と唱えながら長い道のりを回る。どこかアドベンチャーレースと似ている。

6月15日は弘法大師空海の誕生日です。88か所は無理でも、8か所くらい遍路に出られることをお勧めします。 **合掌**

6月15日は真言宗を開いた弘法(うぶじ)を開いたのです。大師(こうぼうだいし)様のお誕生日です。生前のお名前は空海(くうかい)といい、この時期には生誕祭の「青葉まつり」が行われるお寺もあるんですよ。

弘法大師様は、今から約1250年前の香川県生まれで、幼い頃からたいへん聡明でした。出家後に中国(唐)へ渡り、わずか2年で最先端の仏教を修めて日本へ持ち帰りました。そして、和歌山県の高野山に真言宗の道場となるお寺「金剛峯寺(こんごう)

弘法大師様は「私たちは誰もが、へん聡明でした。出家後に中国(唐)へ渡り、わずか2年で最先端の仏教を修めて日本へ持ち帰りました。そして、和歌山県の高野山に真言宗の道場となるお寺「金剛峯寺(こんごう)

弘法大師様は「私たちは誰もが、へん聡明でした。出家後に中国(唐)へ渡り、わずか2年で最先端の仏教を修めて日本へ持ち帰りました。そして、和歌山県の高野山に真言宗の道場となるお寺「金剛峯寺(こんごう)

教えて！ほたるちゃん

## 弘法大師ってどんな人？





# Special 座談会 3

## 三人の僧が語る、仏教の今とこれから 弔いの在り方～守るもの、変わるもの

第一回では、僧としての歩みの始まりを、第二回では、供養のかたちに移り変わりについて語っていた皆さまでした。最終回となる第三回は、実際の葬儀の出来事をもとに、これからの葬儀や弔いの在り方についてお話が進みます。時代とともに変わっていく価値観の中で、何を守り、何を変えていくのか…三人の僧が、それぞれの思いを語ります。

### 葬儀は、それぞれの遺族のやり方になっていくだろう

「好きなようにしてください。セレモニーの部分だけはお坊さんがやりまじ」という考え方もある。どっちも正解だし、どっちも違うと思うけど、それぞれの坊さんが決めることではある。でも、だんだん簡略な方へ、楽な方へ流れていってしまう世の中だから、折り合いをつけていかないといけないだろうな、と最近では思っている。先日の葬儀を見ながら、「これからは葬儀がお寺や葬儀屋から離れて、それぞれの遺族のやり方になっていくだろうな」と感じたね。

**I 住職** 僕は、お坊さんって仲介人だと思ってるんです。仏さまと亡き方、そして現世に残っている遺族との間に立つ存在ですね。皆さんが拝めないから、私が代わりに拝む。もちろん、ご遺族の安堵も大事です。お酒を飲ませてあげたいという気持ちもわかる。でも、その先は我々の世界なので任せてくださいというスタイルで僕は今までやってきました。

**梅村** 我々ができることは何か？望まれる方へ寄っていくのか、それとも宗教者として筋を通していくのか、というところも含めて、自分の中の軸を説いていきたいと思えますね。

「どう寄り添えるか」を、考え続けていきたい

**梅村** 最後に、この先の10年、自分が僧として何をしたいかを、それぞれに



語ってもらって締めたいと思います。

**I 住職** 40代半ばになって、自分もいつまで生きられるかわからないなと思うようになりました。だからこそ、お坊さんとして拝んできた証を残したいと思っています。自分の書物や、自分の拝んできたものを引き継げる弟子を育てなあかんのだろうなと。インドから脈々と続いてきたことを信じて、後世へ伝えていけるものを残したいなと思っています。

**T 住職** 僕は、最低限「こは守らなければいけない」という部分は守った上で、もっと寄り添えるかたちを見つけていくことが、今必要とされていることなんじゃないかと思っています。自分たちは一般の方よりも多くの方を見送ってきていますし、ご遺族と接する時間も長いので、その経験を生かして、これからも「どう寄り添えるか」を考え続けていきたいですね。

正恵寺では \*ご葬儀\* \*ご法事\* \*各種ご祈祷\* \*ペット供養\* \*本堂・お茶室のレンタルスペース\* \*改葬相談\* \*終活相談\* \*人形・仏具供養を受け付けております。お気軽にご相談ください。

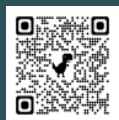
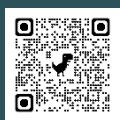
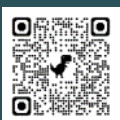
正恵寺・野田ほたるローズガーデン  
住所:千葉県野田市船形 620  
電話番号:04-7196-6205



ホームページ

インスタグラム

X



### 季節のまにまに



#### 【6月のことば】五月晴れ

5月の爽快な晴天と思われがちですが、本来は「梅雨の合間の貴重な晴れ間」を指す、夏の季語なんです。

#### 【からだを労わる】

雨続きで心まで曇りやすい6月。それは、日光不足で心の安定を保つセロトニンというホルモンが減ってしまうのが原因のひとつなんです。朝食にバナナとヨーグルトを食べると、セロトニンの材料が補われて、身体の中から元気を生み出します。五月晴れを待ちわびながら美味しく心を整えていきましょう。